



取扱説明書

PA24921A-JP

OCTT *OPTI-CAM* 成端工具 製品番号: OCTT

Panduit Corporation Japan Branch

OCTT工具の利用に関して

この工具はPANDUIT *OPTI-CAM*コネクタを成端するために使用します。この工具は別売りのパッチコードと連結することでレーザー光線がコネクタから発光し、適切な成端を判断することができます。


*OPTI-CAM*コネクタ製品についてはパンドウイトコーポレーション日本支社までお問い合わせください。

この工具には、クラスIIIa/3Rレーザーを含んでおり、以下の仕様に基づき製造されます。


- IEC/EN 60825-1:2001
- 21 CFR 1040.10および1040.11 (Laser Notice No.50, dated 21 July 2001を除く)

仕様

使用制限:	弊社指定のパッチコードと共に使用すること
レーザーダイオード形式:	赤色レーザーダイオード 635nm クラスIIIa/3Rレーザー
電源:	アルカリ単4電池 2本
電池寿命:	約15時間(連続使用)
動作温度範囲:	0°C~40°C
寸法:	51mm x 44mm x 171mm
重量:	133g(電池を除く)

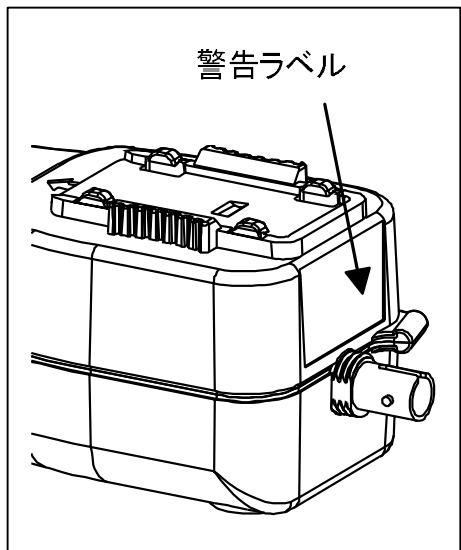


WARNING



工具を操作する前に、取扱説明書と使用上の注意をよく読み、理解した上でご使用ください。

使用方法を誤ると人体に影響を及ぼす可能性があります。





WARNING

LASER LIGHT
AVOID DIRECT EYE EXPOSURE
<5mW @ 635nm
CLASS IIIa/3R LASER PRODUCT
Complies with:
IEC/EN 60825-1:2001,
and also with 21 CFR 1040.10 and
1040.11 with Laser Notice No. 50.
AVOID EXPOSURE - Laser Light
is emitted from the aperture below
or the end of the patch cord.

警告ラベル

工具に添付してあるラベルは剥がさないでください！

版	制定	作成	承認
A	2007年8月20日	久保	今野



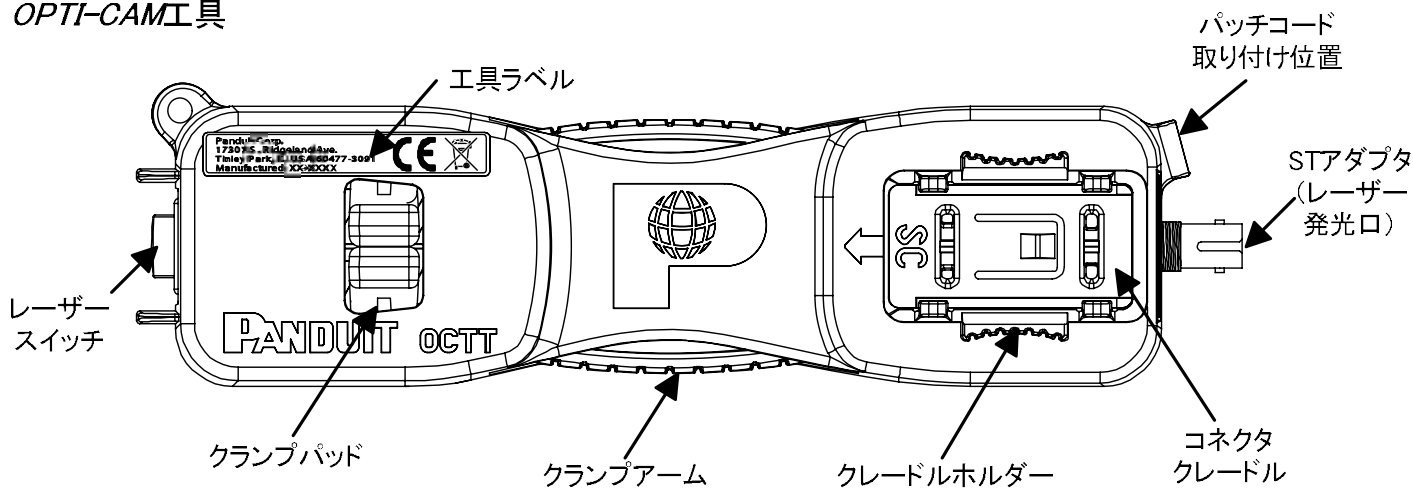
CAUTION

本書に記載されている使用方法以外の取り扱いを行うと、放射線被害の危険性があります。レーザー光線の放射はClass IIにおいて1mW以上、Class IIIa/3Rで5mW以下となるため、下記の項目について注意してください。

- ・レーザー光線を他のものに向けないでください。
- ・レーザー光源を直接凝視しないでください。
- ・レーザー光源を鏡面などの反射物を利用して凝視しないでください。

使用しない場合は必ずレーザーのスイッチを切ってください。また、長時間使用しない場合は、バッテリーと光源装置を保護するため、バッテリーを取り外してください。

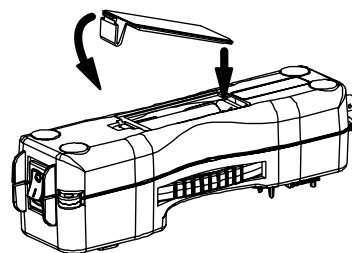
OPTI-CAM 工具



OPTI-CAM 工具使用方法

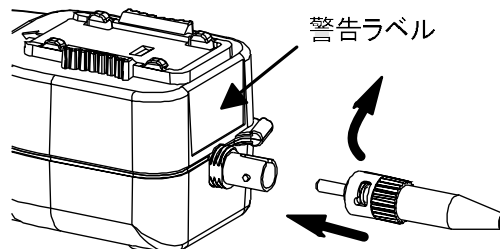
1. 電池の取り付け

本体裏の蓋を図のように取り外し、+/-表示に従って単4電池を取り付けます。その後、蓋を元に戻します。

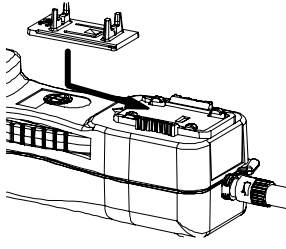
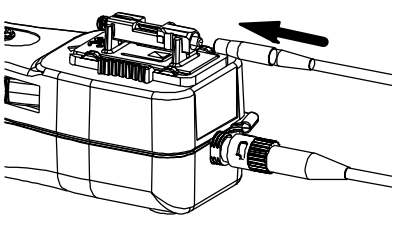
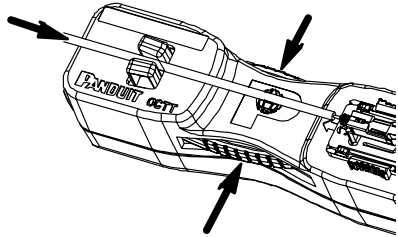
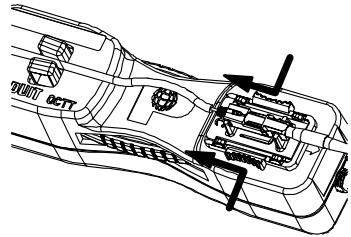
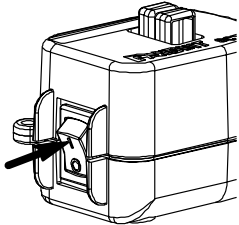


2. パッチコードの取り付け

コネクタの形状に合わせたパッチコードを取り付けます。レーザースイッチが“O”(オフ)にあることを確認し、コードのSTコネクタをOCTT工具のSTアダプタに取り付け、コネクタを右回りに回転させ固定します。



版	制定	作成	承認
A	2007年8月20日	久保	今野

<p>3. コネクタクレードルの取り付け</p> <p>コネクタの種類に合ったコネクタクレードルを図のようにOCTTクレードルホルダにスライドさせ取り付けます。クレードルホルダは、あらかじめ事前成端位置(図の右側方向)にスライドさせ移動しておきます。</p>	
<p>4. クレードルにコネクタを挿入する</p> <p>該当のコネクタをクレードルに取り付けます。(詳細はコネクタの施工手順書を参照)</p>	
<p>5. コネクタフェルールにパッチコードを取り付ける</p> <p>パッチコードのフェルールアダプタをコネクタフェルールに取り付けます。</p>	
<p>6. ファイバーを剥き、挿入マークを付ける</p> <p>コネクタの種類に合わせ、ケーブルのストリップ、カットなどを行います。(詳細はコネクタの施工手順書を参照)</p>	
<p>7. ファイバーを挿入する</p> <p>ファイバーケーブルを持ち、真っ直ぐにゆっくりとコネクタに挿入します。(詳細はコネクタの施工手順書を参照)</p>	
<p>8. ケーブルの固定</p> <p>クランプアームを握り、クランプパッドを開放します。その後、クランプアームを離し、ファイバーが真っ直ぐになるように固定します。</p>	
<p>9. クレードルホルダーを移動する</p> <p>クレードルホルダーを図のようにスライドし、ファイバーをたわませます。</p>	
<p>10. レーザーのスイッチを入れる</p> <p>OCTTのスイッチを“I”(オン)にします。挿入したファイバーが正しい位置にセットされていれば、コネクタ部が僅かに赤く光ります。通常、シングルモードファイバーはマルチモードファイバーと比較すると明るく光ります。</p>	

版	制定	作成	承認
A	2007年8月20日	久保	今野

11. カムレバーの移動

コネクタのカムレバーを90度回転させます。コネクタ内の光の漏れは殆ど変化しないか、もしくは減少します。光の漏れが明るくなるようであれば、レーザーのスイッチを切り、手順7よりやり直してください。それでも改善しない場合は、手順6よりやり直してください。

12. レーザーのスイッチを切る

OCTTのスイッチを“O”(オフ)にし、コネクタフェールールからパッチコードを取り外します。

13. パッチコードにダストキャップを取り付ける(該当パッチコードのみ)

14. ケーブルの解除

クランプアームを握り、クランプパッドからファイバーケーブルを取り外します。
注:コネクタはクレードルに取り付けられたままなので、過度に引っ張らないでください。

15. コネクタの取り外し

成端するコネクタによって手順が異なりますので、コネクタに同封されている説明書に従ってください。

16. クレードルホルダーを戻す

クレードルホルダーを元の位置に戻します。新たにコネクタを取り付ける際は、手順4より作業を繰り返してください。

17. 工具の保管

コネクタの成端が終了したら、STコネクタを反時計回りに回転し、STアダプタ(レーザー発光口)から取り外します。レーザー発光口にダストキャップを取り付けます。

取り扱いおよび注意点

- ・レーザー工具は精密機器のため、使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ・衝撃・振動を与えないでください。また、高温・多湿になる場所での使用や保管は避けてください。
- ・水・砂・ホコリなどは故障の原因になりますので、ご注意ください。
- ・レーザー工具は清潔に保管してください。
- ・バッテリー残量は常にチェックしてください。
- ・長期間使用しない場合はバッテリーを外してください。

メンテナンス

この工具には交換部品は同梱されていません。また、レーザーの出力は調整できません。

記号

右記の記号は、個別に廃棄が必要な電子機器を表しています。

個別に収集し、廃棄することで、電子機器に含まれる有害物質による環境や人体への悪影響を無くします。

個別に収集した機器は適切な施設での処理が必要です。



版	制定	作成	承認
A	2007年8月20日	久保	今野